

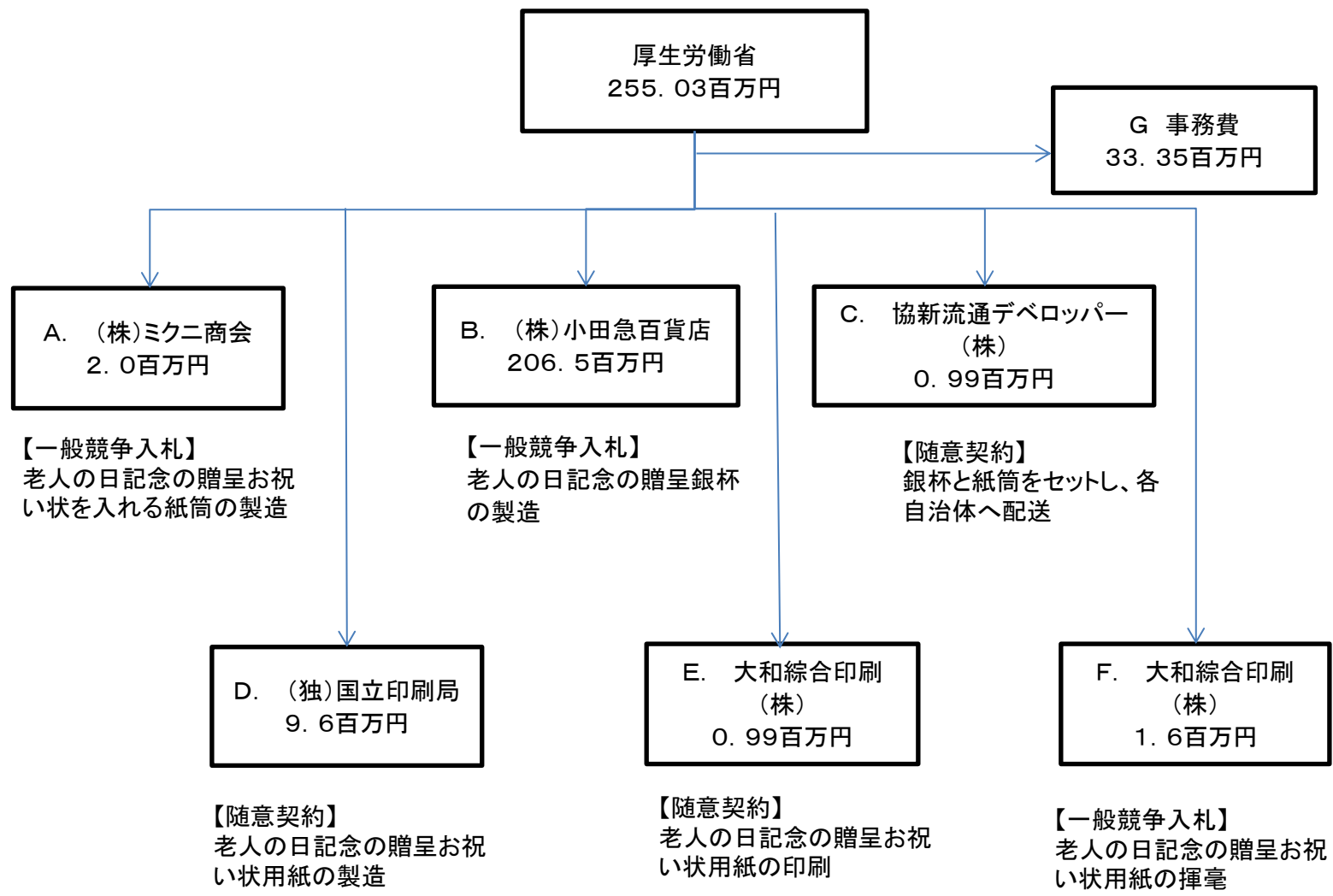
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	高齢者の日常生活支援の推進に必要な経費		担当部局庁	老健局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和38年度		担当課室	総務課・高齢者支援課・振興課		総務課長 高橋俊之 高齢者支援課長 高橋謙司 振興課長 朝川知昭		
会計区分	一般会計		政策・施策名	区-3-1 高齢者の介護予防・健康づくりを推進し、生きがいづくり及び社会参加を推進すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	老人の日記念百歳の高齢者に対するお祝い状及び記念品の贈呈要綱 等				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	百歳を迎えられた方々の長寿を祝い、かつ多年にわたり社会の発展に寄与してこられたことに感謝するとともに、広く国民が高齢者の福祉についての関心と理解を深めること等を目的としている。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	老人の日記念行事として、本年度中に百歳を迎える高齢者を対象に、内閣総理大臣から、お祝い状及び記念品を贈呈する事業等を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	278	279	328	309	309	
	執行額	209	246	255				
	執行率(%)	75.18%	88.17%	77.74%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	お祝い状及び銀杯の贈呈者数	成果実績	人	23,269	24,952	25,823	29,500人	
		達成度	%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	お祝い状及び銀杯の贈呈者数	活動実績(当初見込み)	人数	23,269 (25,000)	24,952 (26,500)	25,823 (28,500)	- (29,500)	
		算出根拠	銀杯及びお祝い状費用(221.68百万円)/24年度贈呈人数(25,823人)					
単位当たりコスト	(8,585円/1人あたりの銀杯及びお祝い状費用)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	褒賞品費	236	250	執行状況等を踏まえた見直しを行ったため				
	庁費	67	55					
	職員旅費等	6	3					
	計	309	309					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費 必要投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	百歳を迎えられた方々の長寿を祝い、かつ多年にわたり社会の発展に寄与してこられたことに感謝するとともに、広く国民が高齢者の福祉についての関心と理解を深めること等を目的としているため、ニーズがあり、また内閣総理大臣より、お祝い状・記念品が贈呈されることとなっているため国費を投入するべきである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	内閣総理大臣より、お祝い状・記念品が贈呈されることとなっているため国が実施するべきである。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	お祝い状及び銀杯の贈呈者数を成果目標として掲げている。また百歳を迎えられた方々の長寿を祝い、かつ多年にわたり社会の発展に寄与してこられたことに感謝するとともに、広く国民が高齢者の福祉についての関心と理解を深めること等を目的としているため、優先度が高い。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を積極的に取り入れ、削減に努めているが、一部随意契約である。 「老人の日記念贈呈」のお祝い状については、内閣総理大臣名で行っており、(独)国立印刷局が取り扱っている所定の用紙を用いる必要があるため、随意契約により、当該(独)国立印刷局より、所定の用紙を購入している(約9.6百万円)。その他については、少額の随意契約。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	一般競争入札を積極的に取り入れ、削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一部調達において一般競争入札の落札方式にて業者選定を行っているが、予算編成時において見込んだよりも調達時において銀の価格等が低かったこと等により、不要が生じたが、銀の価格等について、精緻に見込むことは困難である。	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	毎年対象者全員に対してお祝い状・記念品を贈呈することができているため見合っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点 検 結 果	一般競争入札や贈呈対象者の事前調査等により、効率的に事業を実施しており、毎年度、成果目標は達成されているところ。今後とも、適切な予算の確保や効率的な執行を行うことにより、引き続き適正な事業の実施に努めてまいりたい。				
外部有識者の所見					
贈呈対象者数や銀の価格動向を踏まえ、引き続き、適正な執行に努めること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状 通り	本事業については、必要性からの評価も概ね妥当であり、贈呈対象者数や銀の価格動向を踏まえ、引き続き、効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状 通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	536	平成23年	488	平成24年	431

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)ミクニ商会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
購入費	老人の日記念の贈呈お祝い状を入れる紙筒製造	2.0			
計		2.0	計		
B.(株)小田急百貨店					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
購入費	老人の日記念の贈呈銀杯製造	206.5			
計		206.5	計		
D.(独)国立印刷局					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
購入費	老人の日記念の贈呈お祝い状用紙製造	9.6			
計		9.6	計		
F.大和綜合印刷(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
制作費	老人の日記念贈呈のお祝い状用紙への揮毫	1.6			
計		1.6	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ミクニ商会	老人の日記念贈呈のお祝い状を入れる紙筒製造	2.0	9	93.8

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)小田急百貨店	老人の日記念贈呈の銀杯製造	206.5	1	93.3

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	協新流通デベロッパー(株)	銀杯と紙筒をセットし、各自治体へ配送	0.99	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立印刷局	老人の日記念贈呈のお祝い状用紙製造	9.6	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	老人の日記念贈呈のお祝い状用紙の印刷	0.99	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	老人の日記念贈呈のお祝い状用紙への揮毫	1.6	3	

単価契約